



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

(HP) <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> (e-mail) office.osaka@nsk.org

第413号 2010年6月13日発行

主の祈りは、最もよく知られた祈りであり、最もよく用いられる祈りでありながら早口で祈られ、軽く祈られている祈りです。この祈りは、皆で祈る祈りでもありますが、戸を閉めて、一人で神のみ前に立って祈る祈りでもあります。その時には誰に妨げられることなく、ゆっくりと一言、一言をかみしめながら祈ることができます。



日ごとの糧を今日も

お与えください

司祭 ダニエル 山野上素亮

イエスは、山上の説教の中でこの祈りを教えられました。山上の説教の中には、偽善者を戒める言葉が続きます。施し、祈り、断食、などは当時のユダヤ人の信仰生活の特質を示しており、これらを厳守すれば、信仰生活が成り立つと確信していました。だから、自他共に確認できる方法で立派な言葉で、長く、くどくどと祈りをしていたようです。

イエスは「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存知なのだ」と言われました。それなら祈る必要はないではないか、と疑問を持ちます。イエスが言われたのは、私たちが祈る前から神様(天の父)は私たちに必要なものは何であるかを知り、用意してくださっています。「だからこう祈りなさい」と言って「主の祈り」を教え

てくださったのです。主の祈りこそ、私たちに最も必要なものとしてお与えくださったのです。心を込めて、一つ一つの祈りを噛みしめながら祈りましょう。

「天におられる私たちの父よ」 神さまに「父よ」と呼びかけることをお許しください。これは、イエスを信じる私たちに、神のみ子イエスと同じ立場にしてください

ると言うことです。祈りこそ神と私たちとの対話なのです。家庭における親子の親密度は、会話の量でわかります。祈りがなされない時、神との断絶が起ります。

主の祈りの第2部は、人に対してどのように生きていくかという、人間の生活にかかわる祈りです。その最初の祈りが、「私たちの日ごとの糧を今日もお与えください。」です。

「日ごとの糧」は文語では「日用の糧」と言っています。新共同訳聖書では、「必要な糧」となっています。

これは特別に贅沢・豪華な食事ではありません。私たちが生きていくうえで必要で十分な食事ということです。「罪をおゆるし下さい」と祈る前に「食べ物をお与えください」と祈ることを赦して下さっています。

空腹に耐えかねて盗みをはたらくことがないように、質素な食事を切実に祈り求める謙虚さが与えられるように祈るのです。ひとり静かに祈りましょう。そして主日には信仰共同体の祈りとして声をそろえて心をこめて祈りましょう。

(やまのうえもとみつ 守口復活 教会牧師)

日本聖公会 58 総会

植松主教が首座主教再任

議案審議、日程より早く終了

シラス 長野 泰信

して参りました。

5月25日(火)から27日まで開催された日本聖公会第58(定期)総会に、初めて大阪教区選出の信徒代議員として大西主教、山本司祭、岩城司祭、佐野信三さん(贖主)と共に緊張感を持ちながら出席



開会礼拝後の植松首座主教の挨拶では全聖公会(アングリカン・コミュニオン)の混迷、2008年開催のランベス会議の報告に続いて、日本聖公会ではどこでも高齢化や若者の教会離れ、聖職の不足と大きな課題を抱えている。大切なことは、何か新しいことを、もっと画期的なことをと考えるのではなく、復活の主が共に居てくださるといふ単純な信仰の原点に帰ることが求められている。「こぎ出せ、沖へ」は、試練や挑戦を意味するのではなく、主の祝福が豊かに用意されていると信じて、希望と感謝を持ちながら歩みだすことだ、と力強い挨拶がありました。

その後、主教会はじめ22の委員会やデスクの報告と質疑応答が同日夜9時まで、更に

谷沖繩教区主教からあり、昨年1月に開催された「各教区常置委員長及び宣教担当者の集い」の報告書の紹介がありました。

「各教区で直面している問題」「これから取り組もうとしている宣教課題」「日本聖公会全体で分かち合いたい課題」これらがK・J法でまとめられており、今わたくしちが必要なこと、今わたくしちができること云々(大阪教区連合男子会のテーマ)を考えるとときに大変興味深い報告でした。

女性に関する課題の担当者報告、エキユメニズム委員会報告、礼拝委員会報告、年金委員会報告、給与調整デスク担当報告などには積極的な意見が活発に交換されました。不勉強と無関心であった私には、日ごろ聞きなれない委

翌日の午前中まで行われました。今年8月に開催されるプレ宣教協議会に向けての報告が

員会の報告などは有意義な内容で学びの時でした。(感謝) 報告終了後すぐに第1号から第31号の議案の審議が粛々と進み、同日午後から行われた首座主教選挙・常議員と補欠選挙もスムーズに進み、植松主教が首座主教に再選され、また常議員には定員9名中3名の女性議員が選出されました。最終日は08・09年度管区一般会計及び収益事業決算の承認と11・12年度管

区一般会計予算案の承認の議事が図られ、年金問題など厳しい状況にあるが、いち早く対策が講じられるよう意見があり、全ての議案審議が日程より半日早く午前11時に終了しました。

この度の総会に出席し管区・全国各教区の動静、課題などを共有し知ることによって、共に折り支えあうことができるかと強く感じました。

開会礼拝の植田東京教区主教の口を通して語られた説教「罪と赦し」については、福



音を宣べ伝える教会に絶対必要な「赦し」。話し合いなさい、和気あいあいと。赦すためには膨大なエネルギーが、神様は7の70倍のエネルギーが必要と言われた。

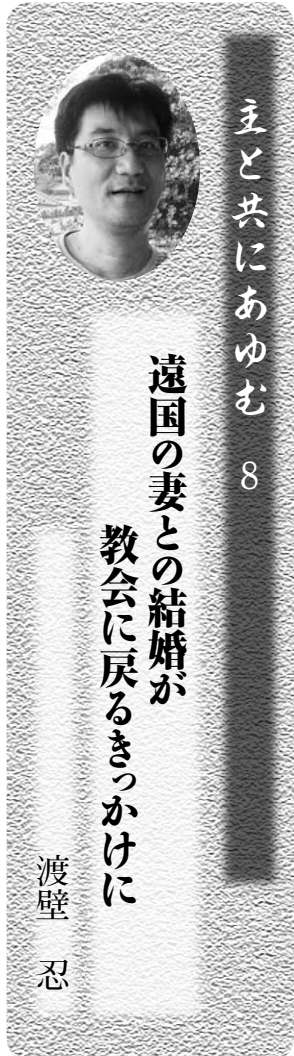
「互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなた方を赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい」。

この説教を通して「今わたくしたちに必要なこと」を与(次ページ4段目につづく)

主と共にあゆむ 8

遠国の妻との結婚が
教会に戻るきっかけに

渡壁 忍



城南教会に通い始めてもうすぐ8年になります。私の両親がこの教会の信者でありましたので、幼児の時に親の意向で洗礼を受けておりました。小学校高学年の頃まで家の近くのプロテスタントの教会に

通っておりまして。父は当時職場が淀川キリスト教病院で、この教会の昔の資料にも時々名前が出てきますが、家の中ではあまりイエス様や、聖書の話をする人ではありませんでした。

その後私は19歳で就職して家を出ました。当時は職場や住むところを何度も変えたりしていました。おそらく母が心配して知らせたのだと思いますが、教会から月1回くらい手紙が届いておりましたが、

(前ページよりつづく)
えられました。
議会の場を提供下さった牛込聖公会聖バルナバ教会の司祭・信徒の皆さま、管区事務

所の方々の熱いおもてなしのお陰で、無事役目を果たせたことを心より感謝いたします。(ながの やすのぶ 石橋聖トマス教会信徒)

2度づけお断り!!

松崎町
たより

大阪へ来て最初に
行ったのは
通天閣、天王寺
の我が家から歩

らためて思い知らされた。
通天閣と言えば「串カツ」
である。有名な串カツ店待
つこと30分、やっと入ってカ
ウンターに座り、串カツを注

なあ」と思ったのだが、皆が
大きめのボールに入っている
ソースをつけて食べるので、
一度口にした物をもう一度そ
のボールに入れないでくださ
いということのようだ。それ
がソースの2度づけお断り!!
の真意と理解した。

味がついていない、味
が薄いと感したら、臆せ
ずもう一度味つけをした
いものである。
4月から教区では「教
会奉仕者の学び」がスタ
ートした。またそれぞれ
の教会でも様々な2度づ
け、さらに3度づけの機
会が備えられている。こ
れを大いに生かしたいも
のです。

いて約20分、村田英雄の「王
将」(餃子の王将ではない!)
で「空に灯がつく通天閣に♪
…」と歌われた憧れの場所だ
ある。とは言え、聞いてみる
と村田英雄を知らない若者が
多い現実に、自分の年齢をあ

文。店内を見回すと「ソース
の2度づけお断り!!」の張り
紙が目についたが、その意味
が最初解らなかつた。「ソー
スが十分つかなかつたなら、
もう一度つけたっていいのに

しかし、信仰生活の中でソ
ースの「2度づけお断り」は
ない。聖書のみ言葉、主の祈り、
使徒信経、教会問答などのソ
ースは、2度づけお断りど
ろか、2度づけ大歓迎である。

(主教 サムエル 大西
修)

(わたかべ し のぶ 大阪城
南教会信徒)



昇天日礼拝と教区婦人会総会 磯司祭 説教

増田 愛子

異常な暑さも去り、さわやかな5月13日、「昇天日礼拝」が大坂聖愛教会で行なわれた。始まりを知らせる鐘の音が礼拝堂に響くと、一瞬静寂が訪れ、奏楽が流れる中、大西主教の司式で礼拝が始まる。説教は、9年間に亘る桃山

学院大学チャプレンの任期を終え、今春から教会に戻り、石橋聖トマス教会牧師となられた磯晴久司祭でした。

「紀元前761年南ユダ王国はアッシリアに攻め込まれ、瞬く間に蹂躪されたが、エルサレムだけが深い谷に囲まれていて、持ちこたえ

ることができたことから、エルサレム不滅神話が起こり、聖地となっていく。エルサレム神殿に鎮座します神のイメージが強まっていく。もともとユダヤ民族は砂漠の民で、神は人々と一緒に荒野を旅して下さるインマヌエル（神共にいます）の神でした。定住し鎮座します方になり、徐々に聖書の民の信仰が持



つ、いきいきとした『いのち』が失われていき、加えて悪しき律法主義がさらに『いのち』を失わせた。そのいきいきとした『いのち』を取り戻すために来られたのがイエスだ。そして昇天日として祝われる日に、ユダヤ教の枠を超え、世界の宗教、私たちの宗教となる。イスラエルという限られた地域におられるのではなく、『いつでも』『どこでも』『誰でも』がお会いできる方になったのだ。聖書の民のいきいきとした信仰を取り戻していく。そして主が共

2010年 日本聖公会大阪教区 教区礼拝

2010年9月26日(日) 10時30分
プール学院 勝山キャンパス 清心館

司式：主教 サムエル 大西 修 師父
説教：司祭 ヨハネ 奥 康 功 師

誘い合わせて出席しましょう

募集中

教区聖歌隊員

- | | | |
|-----|-----|----------------|
| 歌う歌 | 260 | 主の食卓を |
| | 244 | 命の糧よ |
| | 247 | キリストの心から |
| | 470 | 人の目には |
| | 503 | 心を高く上げよ (ユニゾン) |
| | 458 | 神の恵みは (ユニゾン) |

教会単位でお申し込みください

申し込み先：山野上素充司祭(式典長) TEL. 06-6992-3307

にいてくださることを一番強く感じるのは、互いに愛し合う心のあるところだ。小さな愛が集まると豊かな愛になる。イエスが共にいてくださる希望をもって、日々を過ごしたい。」と結ばれた。

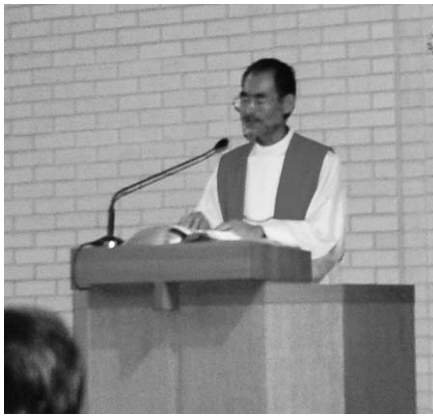
また、礼拝の中で私たちは、昨年度天に召された姉妹たちのみ魂の平安を祈った。出席者は206人(内聖職9人)で、信施金は17万7861円で、大阪教区神学生後援会に献げられた。

午後、「教区婦人会総会」が開催され、桜井揚子会長の

挨拶に続き、根本副会長の議長により、総会資料に沿って昨年度の行事や各部の報告があり、会計の決算・予算案が承認された。本年度より発足した「会則を考える会」の扱いについては、記録として残るようなものにするべきとの意見を頂いた。

この日のためにご尽力くださった大阪聖愛教会の皆様や、お手伝い下さった近隣教会の皆様へ感謝しつつ、私の報告とさせて頂く。主に感謝。(ますだ あいこ 恵我之荘 聖マタイ教会信徒)

第4回ペンテコステ・ヴィジル
日本基督教団東梅田教会で
教派を越え、90人が参加



説教される小田武彦神父

「ニコデモがイエスを訪ねてきたのは夜であった。イスラエルの教師であり、資格、地位、社会的評価があり、多くの人の尊敬を得ていた彼が、ガリラヤのイエスという大工を尋ねることに、人目をはばかったからであろう。ニコデモは道を

ことし第4回目となる「ペンテコステ・ヴィジル（聖霊降臨日前夕の礼拝）は5月22日（土）午後4時から、日本基督教団・東梅田教会で行われ、教派を越えて約90人が集い、聖霊を求める祈りを献げた。

礼拝はまず「招きの詞」から始まり、「（こどもさんびか）の「せいれいよ、きてください」を歌い、宮本ゆき牧師（日本基督教団）、内田望司祭（日本聖公会）、吉岡秀紀神父（カ

トリック）らの聖書の朗読と賛美の歌をくりかえし、そのあとカトリックの小田武彦神父（前聖トマス大学学長）が説教された。小田神父はまず「2000年の教会の歴史は悲惨な分裂、対立を繰り返してきたが、聖霊降臨日の前日の今日、ここに教派を越えてキリスト者が共に集い、一緒に祈ることができるとは感謝である」と述べた後、この日の福音として読まれたニコデモの話をもとに、次のように話された。

「ニコデモがイエスを訪ねてきたのは夜であった。イスラエルの教師であり、資格、地位、社会的評価があり、多くの人の尊敬を得ていた彼が、ガリラヤのイエスという大工を尋ねることに、人目をはばかったからであろう。ニコデモは道を

のに、こんなことが分らないのか」と責められた。絶え間なく示されるみ言葉に心を動かさず、長年、努力してきたものを捨て、やりなおすことなど出来ない私たちの心の底を、ニコデモは浮き彫りにしている。私たちも、もし自分で限界を決めてしまっている

極めているとの自信を持ちつつ論理的、理的にイエスに問いかけたが、イエスは『イスラエルの教師な

教をはじめ、海老原道宣・伝道師（日本基督教団）、小田神父、宮本ゆき牧師がそれぞれ祈りを献げ、日本キリスト教協議会統一訳の「主の祈り」を唱えて礼拝を終えた。

当日の献金は「釜ヶ崎キリスト教協友会」のため約6万円が献げられた。また、礼拝後は集會室に場所を移し、午後6時まで茶菓をともにしながら超教派の「聖徒の交わり」を楽しんだ。

なお後日、アンケートから出席者の方々の感想が明らかとなったが、以下はその一部。

- ・ 毎年のように教派を越えた礼拝は、なんとすばらしいことでしょう。
- ・ すてきな集いでしたが、参加者が少ないのが惜しい気がします。
- ・ 典礼諸式の違いにいつも驚かされます。いまこそエキユメニカルな活動の必要を感じます。
- ・ 説教後の分かち合いの時、他教派の方のお話しが新鮮でした。
- ・ 自分の教会だけでは分らないことを知ることが出来、よかったです。（編集部）

第8回 成年会のご案内

20代後半～40代の教会につながる人たちが
 教会や教区を越えて出会う会

2010年7月18日(日)～19日(月・祝)

場所：京都教区 小浜聖ルカ教会

宿泊：民宿いよもん（貸切）

【お問合わせ・お申し込み先】
 西宮聖ペテロ教会 当舎あずさ
 a_tousya@fiberbit.net



開講式で挨拶される大西主教（中央）

「ウイリアムス神学館特別出張講座」
教会奉仕者のための学び

「身につけて伝える」をめざして

辻 潤

表題の学びの会が教区生涯学習委員会とウイリアムス神学館の主催で4月24日に始まりました。科目は「礼拝学入門」（講師・吉田雅人ウイリアムス神学館館長）と「教会問答入門」（講師・岩城聰司祭）。

各90分の講義が、来年の3月まで8月と12月を除き全10回にわたり、毎月第4土曜日の

午後には大阪聖パウロ教会で開催されます。

4月24日の開講式は、山野上素充司祭の司会のもとで行われました。冒頭、大西修主教は「定員オーバーの申し込みがありうれしく思う。いろいろな奉仕があるが、全体の流れをしっかりと学んで、一つの事柄の意味を知って伝えることができる。そして自分の行っていることに自信を持って関わっていくことになって奉仕がより豊かなものになる。身につけて各教会の多くの方に伝えてほしい。」旨の挨拶をされました。私のように今年の1月から初めて信徒奉仕者に認可され、どうしていいか戸惑っている者にとってぴったりの講習会とばかりに申込みしたものの、「身につけて伝える」ことができようになるとか心配で、しっかり受講しないとイケないと

思うばかりです。会場は1階の教室に入りきれないため2階の礼拝堂になり、約35人の受講生が一堂に学びます。

幸いにも講師お二人ともご専門の分野で、分かりやすく教えていただけそうです。授業と授業の合間の30分の休憩時間にはお茶菓子も用意されており、交流を図りながら楽しく学んでいけることを期待しています。授業終了後は夕の礼拝を共に献げました。
(つじ じゅん 芦屋聖マルコ教会信徒)

台湾聖公会 頼榮信主教からの近況報告

親愛なる大阪教区の皆様、

まず4月に台湾を訪問された石橋聖トマス教会のツアーが成功裏に終わったことに対して、全能の神と大阪教区に対して感謝いたします。中山長老基督教会で行われた逝去者記念礼拝は、わたしたち二つの教区の交流にとっても良い機会でした。その夜の歓迎会、

神学生一人の1年間にかかる諸経費（学費、寮費、手当、奨学金等）は独身者の場合で約200万円、既婚者の場合で約350万円です。

毎年おさげいただいている後援会献金は約350万円です。一人分の費用は満たされませんが、二人の費用を満たすことはできません。何とか目標額を二人の費用を満たすところに置き、新たな神学生の誕生を安心して迎えたいと願っております。

神学生 は皆さんの献金で 支えられています！

これからの教区の働きを担う神学生を支援するため、一人でも多くの方がこれまで以上に後援会献金にご協力くださいますようお願い申し上げます。大阪教区神学生後援会

また高雄の聖テモテ教会の礼拝とその後の交流会で、深く幅広い交流を行うことができました。カラオケも一緒に歌ったのです！
わたしたちは、春期の聖職者リトリートを終えたところです。次回のリトリートは秋に計画されており、大阪教区から1人の若い聖職者をお招きしたいと思っています。おそらくは11月の第1週に行われ、指導者はカナダの姉妹教区であるニュー・ウエストミンスターの主教、マイケル・インガム師になります。

台北の聖ヨハネ大学の2つの大きな建物の落成式も終えたところです。40年以上前に建てられた中心部の中庭を囲む建物を建て替えたものです。また同じ日に、海大学創立43周年を祝い、海

台湾の教会を
訪ねて

温かなもてなしを受け
礼拝にもすぐに溶けこむ

ルデヤ 村上喜代子



4月8日(木)から12日(月)まで、4泊5日の日程で、石橋聖トマス教会主催、大阪教区台湾交流委員会後援による「台湾の旅」に参加しました。参加者は当教会13人、東豊中聖ミカエル教会、大阪聖愛教会、川口基督教会、名古屋聖マタイ教会からの参加で計18人。

2009年9月に、台湾聖公会(米国聖公会第Ⅷ管区台湾教区)主教・頼榮信神父が来阪され、わたしの所属する石橋聖トマス教会で、頼主教に主日礼拝の説教をしていただき、交わりの時を持ちました。次はわたし達が台湾教区を訪ねて、親交を深めることができたかと、この旅行を企画しました。

今回は、ふたつの教会を訪ねました。ひとつは、台北にある中山基督教会です。聖トマス教会信徒の、故早川善樹さんと故日高和夫さんは、台湾で生まれ育ち、ふたりが過ぎた教会は、台北市内にあります。戦前は、聖公会の教会でしたが、現在は中山基督教会となり、台湾基督長老教会に所属しています。4月8日、その教会で、頼主教の尽力と、中山基督教会の皆

外からの18人の同窓生、および上海にあった元の聖ヨハネ大学の卒業生を含めて、多くの卒業生がキャンパスを訪れました。

9月から学習を始める2人の新たな神学生、および1人の聖職候補生がいます。

さんの好意により、故早川さんと故日高さんの、逝去者記念の礼拝を行うことができました。礼拝後は温かなもてなしを受けて、良き交わりを持つことができました。

もうひとつは、高雄にある

台湾聖公会聖テモテ教会です。4月11日聖テモテ教会において、頼榮信台湾教区主教、林俊明牧師の下で、主日礼拝に出席しました。礼拝は台湾語でしたが、礼拝様式は、トマス教会の聖餐式とほとんど変わらず、すぐに礼拝に溶け込むことができました。頼主教、林牧師、信徒の皆さんは温かな笑顔で、わたし達を迎えてくれました。美味しい昼食をいただき、お互いの国の言葉で、聖歌を歌い、披露しました。「いっしょに」と声をかけあい、

2人の伝道師は、最終的な聖職試験を受験しており、うまくいくと彼らは夏に執事に叙任されるでしょう。

10月に予定している幼稚園の園長と教師の大阪教区訪問を心待ちにしています。この訪問が、両教区の幼稚園教育

の分野において、また友情を深める上で役立つと確信しています。全能の神が引き続き我々両教区の姉妹関係を祝福してくださいますように祈ります。

台湾教区主教 頼榮信

教会の皆さんと写真を撮りました。

ふたつの教会を訪ねて、イエス・キリストを通して、わたし達はひとつに結びつけられ、主にある交わりを持つことができましたことを実感して、感謝したひと時でした。また、観光では、日月潭で、頼主教

お薦めのクルージングを楽しみ、台湾各地域の料理に舌鼓をうちました。

今後も、台湾教区との交わりを継続させて、より豊かなものにしていきたいと願っております。

感謝したひと時でした。また、観光では、日月潭で、頼主教

(むらかみ きよこ 石橋聖トマス教会信徒)

世界の窓

○2010年FIFAワールド・カップへの願い

ケープタウン大主教タボ・マクゴバ博士は、南アフリカで開催される2010年FIFAワールド・カップについて、神の祝福が注がれるように共に祈ることを訴えている。大主教はスポーツが異なった民族と宗

教の人々に一致を与え、南アフリカと全ての人類の若者に自信と社会的秩序を構築させるものであると語っている。また、このトーナメントを通して南アフリカが迅速に発展し、少年少女の教育や健康のための施設が造られていくことを願うと述べた。

(Anglican Communion News Service: May 24, 2010)

もさもさゲームあり、静かな祈りの時もあり

「青少年キャンプ同窓会」(ジュニアユースキャンプ) 開催

本間 欽吾

大阪教区で長年行われてきた「愛の園」高校生キャンプが阪神淡路大震災で中断して10数年。高校生年代のプログラムをと、2007年に立ち上げたのが「ジュニアユース(JY) キャンプ」(中学卒業〜18才対象)です。07年夏以降、東光学園・聖ルカ教会、富田林聖アグネス



教会、高槻聖マリヤ教会、守口復活教会などで1泊2日を実施。企画はしたが、参加申し込みが1人、ゼロなどで残念ながら中止、もありました。しかし、その都度教区報で報告しているようにキャンプ参加者は少数であっても、新しい出会いの中で、共に遊び、笑い、祈り、そして学びの時間を過ごしています。

今回は従来とは少し違う形で『青少年キャンプ同窓会』(勿論、キャンプに参加していない人も参加は可)としました。3月28日の日曜日の午後、十三にある聖贖主教会で半日のプログラムです。高校生の年代の対象参加者は4人と少数でしたが、JYスタッフ2人以上に青少年キャンプのリーダー・シニアスタッフら、大西主教はじめ聖職

者の方々も参加していただき総計21人もの参加でした。当日の内容を少し紹介しましょう。

- ・(思い出シアター) 字幕・ミュージック付きシアター。過去何回かの青少年キャンプとジュニアユースキャンプのスナップ。
- ・ジュニアユースキャンプってどんなことしてるのかが分かった!?
- ・笑顔いっぱい。なぜか食べてるところが多い。おっと、静かな祈りの時間もありませんね。
- ・(もさもさゲーム)ジュニアユースキャンプ恒例です。のどが詰まりそうになりながらのトランプゲームです。なんなん?それって!次の機会にはぜひ参加して体験して下さい!
- ・少し、お話タイムの後、夕食の買出し。食卓作りしていっぱい食べました。今回

2010年大阪教区青少年キャンプ

参加者募集中

日程：8月9日(月)～11日(水)

場所：紀泉わいわい村 (大阪府泉南市)

本年も、上記のとおり、青少年キャンプ(宣教部主催)を行うことになりました。小学校3年生から中学校3年生までを対象にしたこどもたちのキャンプです。

スタッフ募集のお知らせ

開催にあたって、一緒にキャンプを企画、実行してくれるスタッフも募集しています。

対象年齢は18歳以上(高校生は不可)です。

興味のある人は saitoh@fj8.so-net.ne.jp まで

お気軽にお問い合わせください。

メール以外でのお問い合わせは、宣教部長・齊藤司祭

(06-6772-4152 大阪城南キリスト教会)まで

「手巻きサンドイッチ」でした。

*(テゼの祈り)

静かな祈りの時です。5分間の黙想時間もあった。こんな長い黙想したことある?

ジュニアユースキャンプでは毎回行っています。

*みんなで後片付けして、さいなら!また、会おうね!

多くの方々のお支え感謝です。

気負わず ゆっくり ゆつたりで、互いに親しみ、話し合う場が与えられ、次へのつながりのきっかけとなる時が与えられますように。

これからも実りあるJYキャンプが開催できるようお祈り下さい!

(ほんま きんご JYキャンプ担当 高槻聖マリヤ教会信徒)

今回の集いで、4人の参加者全員から「次、また来たい!」「もさもさゲームもしたい」でした。



キッズフェスティバル2010

メッセージのナレーションで奉仕

フランシスカ 内海理紗子

4月29日(祝)、聖贖主教会で行われた「イエスさまはきみが好き」と題したキッズフェスティバルに大阪教区の15教会から、子ども55人を含む計132人の参加がありました。

私は川口基督教会でサーバ

ーとしてご奉仕している中学三年生です。教区という大きな場所、皆様にお会い出来たことを大変嬉しく思っています。

さて、このキッズフェスティバルで、私は一つ大きなご奉仕をさせて頂きました。それは礼拝中に行ったメッセージのナレーションという役割です。実はこの奉仕は母が行う予定でした。しかし、前々日より喉を痛め、代役として私が行うことになったのです。

この礼拝で目立つご奉仕をする事に対して、私は不安を感じました。目立つ事が嫌いなわけではありませんでしたが、短期間の練習で、ナレーションを成功させる自信は全くありませんでした。失敗をフォローし、成功に導く対応力に恵まれてないと思ったのです。あまり気持ちは乗らないまま、私はこの奉仕を引き受けました。小さい頃から教会に通っていた私にとって、断ることが負けに思えたからです。何度か練習して本番を迎え、私は思いました。大丈夫だ、と。何の根拠もありませんでしたが、そう感じたのです。

後から思ったのですが、あの時感じた安心感こそ、神様の導きだったのかもしれない。導きには触れられませんが、見ることすら出来ません。けれど、受けられます。神様が与えて下さるのです。どんなに大変な難しい事でも、神様の愛と導きがあれば乗り越えられる、私はこのナレーションで学びました。綺麗な聞こえるかもしれないですが、私は礼拝で、確かにそう感じました。私はそれで十分だと思

います。

「自分で気付かない限り導きは見えない」これも、私が今回神様から教えて頂いたこととです。私には大きな壁でしたが、ナレーションが終わった後に言われたあの言葉は忘れません。「良かったよ」と見ている人に、そして神様に。小さくとも喜びを感じて頂けるように、私はこれからも神様にご奉仕したいと思っています。

(うつみ りさこ 川口基督教会信徒)

オルガンワークショップ
(小・中・高校生対象)

音楽の捧げもの

～パイプオルガンを弾いてみよう～

7月25日(日)午後2時～同4時

川口基督教会にて

主催/礼拝・音楽委員会

所定の申込み用紙で7月9日(金)までに
教区事務所に申し込んでください。

神学生を囲むつどいのお知らせ

日時: 8月29日(日) 午後3時

場所: 大阪城南キリスト教会

「わたしたち大阪教区の神学生を支えよう!!」

教 区 の 動 き

常置委員会報告

4月19日(第6回定例)

3月9日開催の第5回議事録を承認した。

1. 主教報告

次の報告がなされた

- ① 教区の行事、主教の予定
- ② 大阪教区創立記念日の特祷を作成したので6月5日に近い主日の礼拝で用いるように各教役者に配布した。
- ③ 桃山学院評議員に内田 望司祭を推薦した。
- ④ 主教巡回用の牧杖を購入した。
- ⑤ 京都教区との一日人事交流案ができたので、個別に日程調整するように教役者会で話し合った。
- ⑥ 「教会奉仕者のための学び」が4月24日(土)から大阪聖パウロ教会で開催される

運びになった。35人の参加を得ることができた。

- ⑦ プレ宣教協議会出席の5人の人選については教務局が担当する。
- ⑧ 人事異動に伴う教区諸委員の変更案作成を教務局長に指示した。

- ⑨ 審判申し立てに関し、4月13日付で審判申し立て通知書を被申立人に送付した。

2. その他の報告

- ⑩ 3月一般会計報告を承認した。

3. 協議事項

- ① 書記の山本 眞司祭によって朗読された第103(臨時)教区会の議事録を承認した。
 - ② 財務委員会で検討中の教役者給与基準表改定の趣旨及び具体的改定内容が説明された。
- これは2007年の教区

会で承認された扶養家族手当の改定に続く本体給与の改定で、主に牧会における責務に着目して、「牧師」、「副牧師」、「牧師補・聖職候補生・伝道師」など立場に応じた責任の重さを考慮した給与表の適用を念頭に置いたものである。若年層から、子どもへの教育に責任を持つ世代への配慮と、58歳以降の年代については現行を下回る支給基準を設定している。

ただし、移行措置として給与上昇の恩恵を受けずして減額のみの影響を被る年齢層については補正による移行措置を講ずる。5月の教役者会で説明し十分な理解を得てから会計委員懇談会を経て教区会の議案として提案することを承認した。

- ③ 「信徒の学び」実施案について生涯学習委員会で検討された通信制プログラム案が紹介された。アラカルト方式で3年分30項目ほどのテーマが提示されたが、一気に全科目を提示するとその量の多さに圧倒されるので、優しい表現でとつきやすいもの1年分程度にし

てはどうか。など意見を付けて生涯学習委員会にもう一度検討するよう依頼した。

5月17日(第7回定例)

2010年4月19日開催の第6回常置委員会議事録を承認した。

1. 主教報告

次の諸報告がなされた

- ① 教区の行事、主教の予定
- ② 審判申し立てに関する話し合いの時を持った。
- ③ 2011年3月で定年退職する成田邦雄司祭に代わって大阪キリスト教連合会の聖公会からの後任代議員の人選を主教と常置委員長に一任した。

2. その他の報告

- ① 総会に報告すべき教区間協働については、教務局長がまとめた前総会から2年間の実績報告があった。
- ② プレ宣教協議会出席の5人の人選については、教務局

会議で挙げられた候補者を含めて検討・決定して、その旨、各本人に打診することとした。

- ③ その他の管区関係プログラムについては、教務局作成の参加者案を了承した。
- ④ 4月一般会計報告を承認した。

- ⑤ 教区規則、教区会規則変更審議の経過報告が法制委員長山本眞司祭からなされた。本件は、11月に開催される第104(定期)教区会に議案として提出される。
- ⑥ 教役者給与基準表の改定に関する報告。

当該改定案を5月10日開催の教役者会に提示し、意見を求めた。おおむね受け入れられた感触であるが、短時間の説明であったので、6月の教役者会まで考えておくように依頼した旨の報告がなされた。

また、教役者会で、給与本体にとどまらず、付帯的な処遇について実態調査の依頼があった。現在財務委員会で検討されており、6月の財務委員会で形になつ

(次ページにつづく)

教区関係教役者

逝去者記念聖餐式

◇7月14日(水)午前11時

於 主教座聖堂(川口基督教会)

説教者 原田光雄司祭

司祭 ウォルター・J・エドモンズ(1889.7.1英)

伝道師 野村 志津(1997.7.1)

宣教師 エリザベス・メータ・ソフィー・ヒューボルト(1934.7.5英)

主教 パウロ 久保淵 豊彦(2006.7.12)

主教 アーサー・ウイリアム・プール(1885.7.14英)

宣教師 オクタビア・ジュリアス(1942.7.15英)

宣教師 エミリー・サンドル・フォックス(1942.7.20英)

司祭 ヨハネ 木川田 正毅(1990.7.20)

司祭 堀江 議作(1928.7.21)

執事 永田 保治郎(1941.7.21)

伝道師 中村 貞子(1953.7.23)

宣教師 エセル・アグネス・カーライル(1957.7.23英)

司祭 西田 弥吉(1945.7.24)

宣教師 ジェーン・アン・スタベリー(1963.7.24英)

司祭 サムエル 堀江 光児(1990.7.25)

宣教師 ロレッタ・レオナルド・ショウ(1940.7.29英)

◇8月11日(水)午前11時

於 主教座聖堂(川口基督教会)

説教者 鍋島守一司祭

主教 エドワード・ピカステス(1897.8.5英)

主教 ヘンリー・セントジョージ・タッカー(1959.8.8米)

宣教師 アグネス・S・ウイリアムス(1970.8.9英)

司祭 ヨハネ 桜井 猶次郎(1945.8.10)

主教 ペテロ 藤本 寿作(1969.8.10)

宣教師 シルビア・ルイス・ケンドール・ブッシュ(1966.8.11英)

司祭 関 翔(1953.8.18)

宣教師 キャサリン・アリス・サルヴァイン・トリストラム(1948.8.24英)

伝道師 ルツ 中村 光尾(1978.8.30)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前11時から、主教座聖堂(川口基督教会)で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

○5月9日にマルコ・愛光フエスティバルと銘打って、フリーマーケットとミニゴスペルコンサートを開催しました。教会、CS、幼稚園、幼稚園OB、ご近所みんなで一つになって楽しい1日でした。収入の8万円余は教会100周年・幼稚園90周年記念事業のためにささ(次ページにつづく)

(前ページよりつづく)

たものが提案され、7月に開催予定の会計委員懇談会で調査依頼をする予定である。

3.懇談事項

①11月の教区会で現在の常置委員任期は終了するが、それまでに来年の人事構想について意見交換をしたい旨、主教から発言があった。

②次の10年くらいの間に教会・

牧師館・会館の建設または改修を必要とする教会が出てくると思われるが、今から準備をし、教区としてのビジョンを持つておく必要がある。6月の常置委員会では意見交換ができるように、各教会の建物の建築時期、および手入れの状況等を可能な限り調査していただく。調査は、教務局長が担当することとなった。

教会・施設の動き

西宮聖ペテロ教会

○桃山学院大学のオルガニスト松原晴美さんによるパイプオルガン・コンサートが2回にわたって当聖堂で開かれました。入場者は他教会や近隣からも集い、第1回(4月25日)が165人、第2回目(5月23日)が150人の超満員。同姉の蘭切れよい解説と見事な演奏

で新オルガンの能力が十分に引き出され、素晴らしい演奏会になり感謝です。

尼崎聖ステパノ教会

○4月から、日曜学校を再開した。原則月1回、主に幼児数人と主日礼拝のあと引き続き行っている。

芦屋聖マルコ教会

○愛光幼稚園は3月29日付けで学校法人芦屋聖マルコ学園愛光幼稚園として認可さ

れました。

○愛光幼稚園は3月17日に第89回保育証書授与式を執り行い、24人が卒園しました。

また4月10日に入園式を挙行しました。年少25人、年中3人、年長1人の新入園者を迎えました。3月28日に開いた園庭のサクラは、2週間持ちこたえてくれ、満開のサクラの下での入園式となりました。

○マルコ教会のイースター、

礼拝出席194人、陪餐129人、週報は足りない、そしてイースターエッグも愛餐会のデザート(三色団子)も足りませんでした。とても満ち足りたイースターでした。

(前ページよりつづく)
げました。

堺聖テモテ教会

○復活日には、5人の子どもの
たちの幼児洗礼があり、そ
のご家族やご両親の友人も
含めて、140人以上の人々
が礼拝堂を埋め尽くし、大
きな恵みを受けた一日を過
ごすことができました。

大阪聖アンデレ教会

○5月23日に泉南市「紀泉わ
いわい村」で野外礼拝をさ
さげ、バーベキューと雨に
映える新緑を楽しんだ。来
年は一泊旅行にして民家の
生活ができればと考えてい
る。

高槻聖マリヤ教会

○「お料理講習会」「手芸を楽



大阪聖贖主教会

サラ
宇都宮コト
(4月4日)

マルタ
宇都宮洋子
(4月4日)

ベタニヤのマリヤ
宇都宮由美
(4月4日)

マーガレット
宇都宮 憂
(4月4日)

セシリア
増森 禮子
(4月4日)

芦屋聖マルコ教会

アンナ
吉住 水音
(4月18日)

カタリナ
吉住 真理
(4月18日)

グレゴリー
吉住 正博
(4月18日)

堺聖テモテ教会

マルコ
酒井 丈輔
(4月4日)

ダニエル
酒井 駿輔
(4月4日)

ラファエル
小池光太郎
(4月4日)

はパイプオルガンとチェロ
のコーポレーションです。
入場無料です。奮ってご参
加ください。

しむ会」に続いて始まった
「童謡と唱歌を楽しむ会」も
教会外の方々が次々と参加
されるようになり、地域に
浸透しつつあります。それ
ぞれの会への参加者が異な
るのは面白いです。

東豊中聖ミカエル教会

○教会組織の改編
今年から、教会内の婦人会、
男子会を統合し、それぞれ
の会員以外も含めた全教会
員の「ミカエル会」を発足
させました。教区の組織へ
の関わりは変わらないので

カタリナ
堀 紗月
(4月4日)

マタイ
竹中翔一郎
(4月4日)

川口基督教教会

マーガレット
武内 心音
(4月4日)

聖ガブリエル教会

ピエラ
上田 結子
(4月4日)

西宮聖ペテロ教会

ペテロ
当舎那津希
(4月4日)

すが、教会内部としては第
4主日に「ミカエル会」を
開催し、皆さんで意見を出
し合い、多くの奉仕の業(祭
壇奉仕、受付、朗読、聖歌隊、
食事、など)も自発的に申
し出た人々で分担すること
にしたのです。この会を維
持するため、それまでの各
会費徴収を止めにし、各人
が毎月250円を納めます。
そして、これらの新しい試
みの一つとして、第5主日
の「お茶会」も始められま
した。

東豊中聖ミカエル教会

マルコ
前田 真嗣
(4月4日)



芦屋聖マルコ教会

カタリナ
吉住 真理
(4月18日)

グレゴリー
吉住 正博
(4月18日)

聖ガブリエル教会

ピエラ
上田 結子
(4月4日)

魂の平安を
祈ります

大阪聖アンデレ教会

ルツ
藤田 千鶴
(4月16日・93歳)

堺聖テモテ教会

ハンナ
光成 幸子
(3月26日・79歳)

アクラ
福田 啓二
(4月10日・75歳)

川口基督教教会

マリヤ
有田 壽
(5月4日・99歳)

ナオミ
樋口 朋子
(5月19日・68歳)

守口復活教会

マルコ
北村 純次
(4月19日・76歳)

石橋聖トマス教会

マリヤ
井脇 久子
(4月30日・90歳)

東豊中聖ミカエル教会

シエナのカタリナ
岸 洪子
(5月21日・78歳)